



## 女性の泌尿器疾患

稲城市保健センター  
☎378-3421

従来、泌尿器科は「男性のかかる科」として捉えられがちですが、女性においても尿漏れや頻尿などの症状は、ポピュラーな訴えであることから、尿漏れや骨盤臓器脱（膀胱や子宮、直腸が腔内に落ちこむ状態）といった女性特有の泌尿器疾患を専門とする「女性泌尿器科」という分野が十年ほど前から確立されてきました。

更に女性泌尿器科という分野がここ数年注目されている要因として、尿漏れや骨盤臓器脱に対する新しい術式が普及されてきた事があげられます。

尿漏れの手術は、下腹部を切開するような体への負担が大きい手術が過去には行われていましたが、近頃は、腔壁を数cm切開し、尿道の下にテープを挿入する手術(TVT、TOT)が普及しました。この手術ですと、手術翌日には尿道カテーテルを抜く事ができ、早期の退院が可能です。

一方、骨盤臓器脱においても、従来 of 術式ですと再発率が高い点、体への負担が大きいため、点などのいくつかの問題点がありました。しかしながら、

最近では腔壁を切開し、メッシュを挿入する手術が普及しており、早期退院が可能です。

どちらの手術も効果が高く、合併症の発生率や再発率は低くなっており、尿漏れや、骨盤臓器脱は命を脅かす病気ではありませんが、日常生活に支障が出てきた場合は、手術の適応となります。

また、手術だけでなく、頻尿に対する新しい内服薬が近年開発されてきていますので、女性の方でも、排尿状況にお困りの方がいらっしゃれば、気楽に泌尿器科に受診される事をお勧めします。

稲城市医師会 井手 広樹